

北陸先端科学技術大学院大学研究室教育指針
Laboratory Education Guideline

研究室教育指針は、学則第30条の3に基づき、研究指導の方法及び内容並びに修了までの研究指導の計画をあらかじめ明示するものです。

Based on the Article 30-3 of the general academic rules, the Laboratory Education Guideline is intended to clearly outline the methods and content of research guidance, as well as the plan for research guidance until completion.

氏名 / name : 宮田 一乗 役職 / official position : 教授

| |
|--|
| 1. 研究テーマ |
| Visual Computing, Fun Computing |
| 2. 修得が期待される能力 研究室教育は必修 A 科目（先端）又は研究支援科目（融合）の一部として単位化されており、この欄はそれら科目のシラバス上の達成目標の一部となります。 CG 技術はすでに生活の中に深く浸透している基幹技術でもあり、遍在した表現技術・インターフェイス技術としてさらに発展していくことでしょう。今後重要になることは、ごくあたりまえのものとして使われている技術を、どのような場面に応用して、人々の生活にどのように貢献していくか、を考え抜くことです。研究室教育では、技術偏重の教育ではなく、「人」の役に立つにはどうすればいいのか、どのような問題があり、それをどのように解決するのか、の知識創造の能力を修得します。当然のことながら、技術そのものを修得することはできますが、それ以上に、人間が生み出してきた価値を活かし、新たな価値を生み出す能力の修得に重点を置いています。 |
| 3. 研究指導方針 検索エンジンや AI を使えば、必要な情報を簡単に得られる時代ですので、情報を持っているだけでは意味はありません。自分の知識をどのように組み合わせ、新たな価値を生み出すかが重要です。研究室では、学生に「なぜそう考えたのか」「なぜそれが必要なのか」を繰り返し問うようにしています。自分の頭で考える、アイデアを文章として残す、言葉として発することを繰り返し、質問やコメントなどのフィードバックを得て、より良いアイデアへと昇華していきます。批判されることを恐れずに、積極的に情報発信できる人物に育つように指導します。 |
| 4. 研究室活動の内容及び方法 <input type="checkbox"/> 日次活動 / Daily Activities : <input type="checkbox"/> 週次活動 / Weekly Activities : ゼミ（週 1 回、進捗報告 + 文献紹介） <input type="checkbox"/> 月次活動 / Monthly Activities : <input type="checkbox"/> 不定期活動 / Occasional Activities : 学会発表、トップカンファレンスの論文一気読み（年 3 回）、Slack 上での随時指導 |
| 5. 年間スケジュール 本学の全学共通の年間スケジュールは「履修案内」の「学位取得に至るスケジュール」を参照してください。（本学 HP 参照：ホーム > 教育 > 履修関係 > 履修案内） トップカンファレンスの論文一気読み（年 3 回、EuroGraphics(春季)、SIGGRAPH(夏季)、SIGGRAPH ASIA(冬季)) 研究会での成果発表（修了までに 1 回は学会発表。情報処理学会 CGVI 研究会、HCI 研究会、NICOGRAPH、インタラクション、映像表現フォーラムなど） |